

# 始める前のお願い

このパワーポイントに使われる子どもの写真は

**東京家政大学ナースリールームと一般家庭、**

**小西貴士氏（写真家）の**

許可を得て使用しています。

**写真の撮影や保存はご遠慮ください。**

2025年10月22日埼玉県保育士会

# 「誰もが幸せを感じて生きる保育」

～「こどもまんなか」の視点から～

**井桁容子**

乳幼児教育実践研究家

保育SoWラボ代表

非営利団体コドモノミカタ代表理事

# 井桁がこれまでの 保育実践・保育者養成と研究から確信すること

1. 子どもは大人が思っているよりも  
いろいろなことが分かっている
2. 安心・安全と感じる時に、その人の持っている  
力が良く発揮できる
3. これからは人と人との繋がりが大切な時代

1. 子どもは大人が思っているよりも  
いろいろなことが分かっている

# 人間のはじまりの3年をどのように捉えていますか？

「心の力を育み発達を支える  
保育におけるアタッチメント」  
遠藤利彦著  
チャイルド本社より

## 乳児観の移り変わり

1970年代から乳児に関する研究が進展

無能	→	有能
受動的	→	能動的
無個性	→	個性的



そばにいる大人の認識によって  
人格の土台に影響する

# ヒトの子どもの特徴を知ると 保育観・子育て観が変わる

- **未熟で生まれる**

身体運動能力、体温調節能力、飲食能力 など

- **他の霊長類と比べて重い**

ゴリラは2kg弱

- **子育て期間が長い**

- **脳の発達が著しい**

ヒトは400gで生まれて、大人になるまでに3倍になる  
チンパンジーは大人の80～90%の大きさに生まれる

みんなが育ててきた  
歴史のほうが長い

# コミュニケーション力の芽生え

「共同注意」

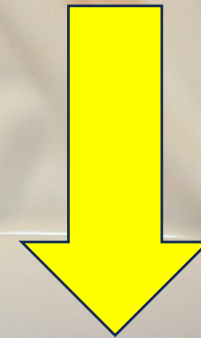
生後9ヵ月頃

「三項關係」

「社会的参照」

生後9カ月以降

子どもと保育者の心がつながる



Combi

生後6か月

ギ  
ギ  
ギ〜

# 科学的根拠が乳児理解を深める

## 胎児期

- ・ 触覚は12週で全身の表面が反応。口が敏感
- ・ 母親の感じている匂いや風味の多くを感じている
- ・ 味覚は胎児の頃にかかなりの訓練を積む
  - 羊水は味蕾の細胞を興奮させる科学物質を含んでいる
  - 羊水は常に変化（母親が食べたもの・胎児の尿）

## 赤ちゃんの脳

- ・ 大人の脳のミニチュア版ではない
- ・ 脊髄と脳幹は誕生時にほぼ完全に発達。生き延びる、成長する、保護者との絆を結ぶなど新生児の基本的な必要性を満たしている
- ・ 大脳皮質は未発達な状態（学習マシン）
- ・ 神経系を発達させる手順は遺伝子にプログラムされているが、各段階における発達の質は環境要因によって形作られる。

WHAT'S GOING ON  
IN THERE?

How the Brain and  
Mind Develop in the  
First Five Years of Life  
Lise Eliot

赤ちゃんの脳と心で何が起きているの？

リザ・エリオット（神経科学教授）

小西行郎（日本語版監修）

福岡洋一（訳）

楽工社 2017年

**保育者の行為から**

**乳児は**

**その人がどんな人か分かっている**

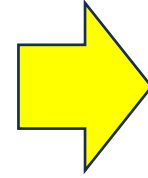
**2. 安心・安全と感じる時に、  
その人の持っている力が良く発揮できる**

# こどもの権利条約

1989年11月20日

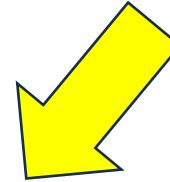
国連総会で採択（196か国・地域）

1994年日本が批准



# こども基本法

2024年4月施行



## こども家庭庁

こども真ん中

「はじめの100か月の育ちビジョン」

### 第3条（基本理念）

こども施策は、次に掲げる事項を基本理念として行わなければならない。

四 全てのこどもについて、その年齢及び発達の過程に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されること。

# こどもの権利とは



「やりたいことができる」

「してほしくないことはやめてと言える」

「してほしいと言える」

と、**子ども自身が感じていること**



**安心・安全の保障**

# はじめの100か月の育ちビジョン

「こどもまんなか こども家庭庁」冊子より

ビジョン1 こどもの権利と尊厳を守る

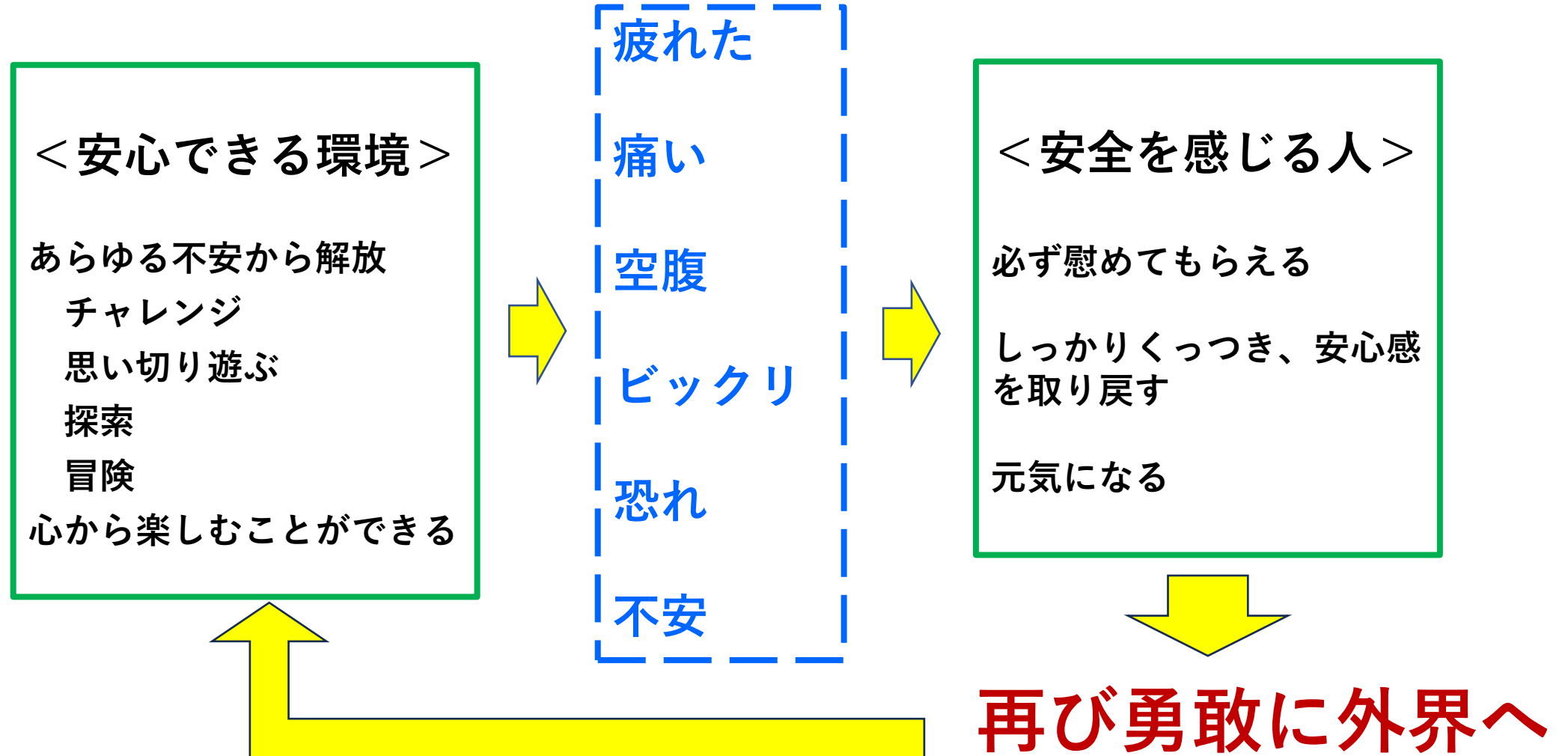
ビジョン2 「安心と挑戦の循環」を通して、子どものウェルビーイングを高める

ビジョン3 「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える

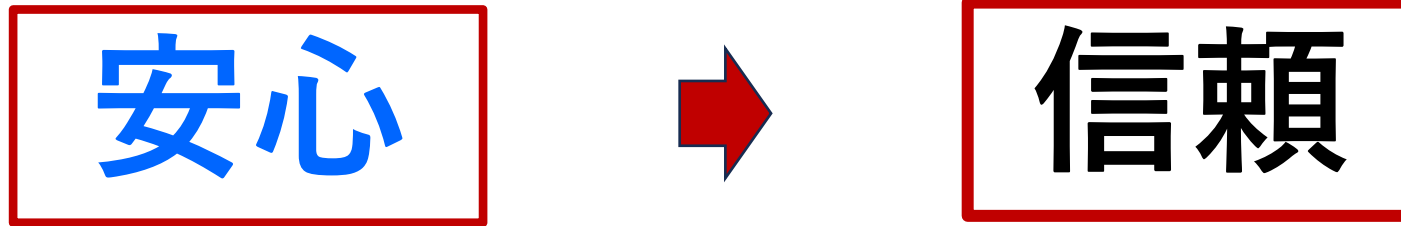
ビジョン4 保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする

ビジョン5 こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

# 「安心と挑戦の循環」を保障する保育者の役割



非認知的能力が育つために重要なこと



## アタッチメント

(ジョン・ボウルビィ：イギリスの児童精神科医が提唱)

※ 「愛情」 「スキンシップ」とは視点が異なる

# 「保育者に必要な2つの感性」

「心の力を育み発達を支える保育  
におけるアタッチメント」  
遠藤利彦著：東京大学大学院教授  
チャイルド本社 2025年2月参考

1 対 1



「二者関係に関連した感性」



二者関係のみを重視したかわりには、  
集団が大きくなるにつれて、一人一人の  
子どもの関係が悪化する

一人一人



「二者関係に関連した感性」

「集団生活に関連した感性」



こども同士で楽しく遊べることや、安  
心して生活できることに配慮し支えて  
くれる保育者に信頼を寄せる。  
子ども同士の関係が良好

# 子ども同士をつなぐ関わりが大切

A児が使っていた  
箱車をB児が取り  
A児が泣いた

1. どのよう  
関わりますか？
2. この経験は子ども  
にどのような学び  
になりますか？

※『子ども主体で考えるかみつきひっかき』  
井桁容子著・Gakken を参考にしてください

# ひとは言われた言葉で心が育つ

- ・「強い」と言ったあと握力を測ると・・・
- ・コーチが変わると選手のパフォーマンスが変わるのは・・・
- ・「プラスなことば」(感謝・思いやり)or「マイナスなことば」(ずるい・意地悪)で作文。直前に触れた言葉が行動に影響(プライミング効果)
- ・ほめるだけでリスクを与えないリーダーはカリスマ性が減る
- ・「でも」と「かも」魔法の言葉
- ・選択させられると脳が活性化

西 剛志 (にし たけゆき) 監修

「保育ナビ」特集 P4～9 参考 フレーベル館

# いま、「年長児が幼い」と言われる訳

自分の気持ちを表現できない  
話が聞けない  
衝動的  
落ち着かない・・・etc



※コロナ禍の影響？

共感（認知的共感）をされた経験の少なさ？

# 「安全感」「温かい関わり」の重要さ

## 『ポリヴェーガル理論』

『ポリヴェーガル理論入門ー心身に変革をおこす「安全」と「絆」ー』  
ステファン・W・ポージェス著 花丘さくら訳 春秋社参考  
津田真人氏講演より参考（小学館教育編集部主催）

- ・1994年 スティーブン・ポージェス博士（アメリカ）が提唱
- ・「ポリ（多数の）」と「ヴェーガル（迷走神経）」を組み合わせた造語

### ◎自律神経

・交感神経：活動、緊張、覚醒に関わる危険からの（能動的な）防御を担当

・副交感神経

背側迷走経複合体：個体の生命維持と生死のかかった極度の危険からの（受動的な）防御を担当→原始的。乳児期は優位

腹側迷走経複合体：社会的つながりの安全感の構築に関与→生まれた時に未完成  
哺乳類特有の神経系

「子どもって、みごとに人間だ！」  
—保育が変わる子どもの見方—  
佐伯胖・井桁容子共著  
2021年（フレーベル館）より

# 「子どもらしさ」とは？

- ①ものごとに夢中になること
- ②不誠実さには進んで拒絶すること
- ③驚きを受け入れること
- ④柔軟に（こだわりなく）探索すること
- ⑤ものごとに「聴き入る」こと



大人は「名前のある世界」にいきていますが、  
子どもは「名前のない世界」を見ています。  
保育者は「名前のない世界」と「名前のある世界」  
の間に立ち、環境を通して子どもの育ちを支える  
専門職です。

執筆・監修 細田直哉

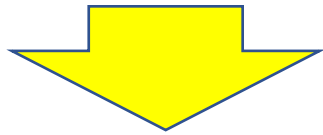
(国立市幼児教育センター所長)

「保育ナビ」二〇二五年三月号  
フレールベル館より

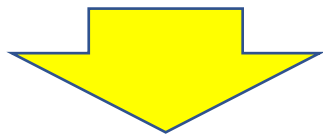
## ②不誠実さには進んで拒絶すること

### 「イヤイヤ期」

意見表明権(views):こどもの権利



何が嫌なのかを知ろうとすることが大事



そばにいる大人との関係性で変わる

# 子どもが泣いたら？

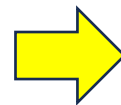
あやす  
抱っこ  
時にはそのまま

対応の根拠は？

泣いている理由を的確に洞察し満たすことが専門性

情動的共感

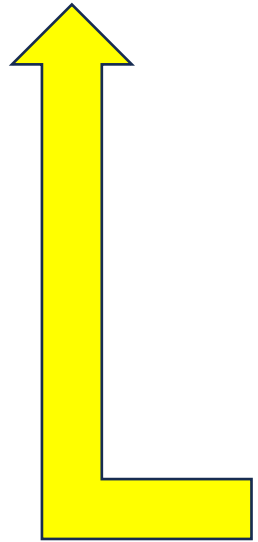
共感



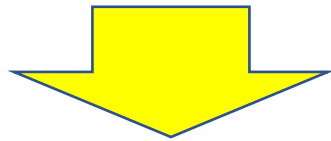
認知的共感

# コミュニケーション力（社会性）とは

ケンカをしない子どもがいい子？  
トラブルがない保育を目指す？



もともと失敗する経験から考え、  
工夫していく中でついてくる力  
継続する中で分かり合っていくこと



**「対話的にかかわり」の重要さ**

# 食事中にこんなことをする0歳児をどう見る？

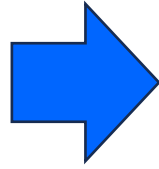
「行儀が悪い」  
躄をしなければ・・・

「孤独な科学者としての学びだ」  
(ピアジェ)



④柔軟に（こだわりなく）探索すること

プロとしての仕事は  
“相手を知る”必要がある



よくみる (善くみる・よく観る)  
学び続ける

注意

- ・相手（ヒト、コト、モノ）は常に変化している
- ・経験主義は「知っている」という思い込みや決めつけが強まる

## 例えば0歳1歳児の食事風景から



自分の意思で食卓  
についているか

美味しく楽しく食べ  
ることを大切にして  
いるか

大人の都合で待  
たせていないか

### **3. これからは人と人との繋がりが 大切な時代**

◆◆子ども・若者・保護者から  
見えてくること◆◆

頑張らないと許されない

(自信を無くす)

みんなと同じでないと不安

(同調圧力を生む)

人間関係のフラット化

(コミュニケーション力の低下)



若者の自殺が世界で一番

子どもの自殺の増加

いじめ、不登校、虐待の増加

**「子育てと保育の違いは何ですか？」**

**と訊ねられたらどう答えますか？**


消費社会 → 情報社会 → 創造社会

これからの時代は

創造的に暮らす時代


そして、違いを活かし合って  
つながりが重要な時代

# 慎重派



痛そう・・・

# 行動派



どんな感じかな？

# つながり

目に見えるつながり

目に見えないつながり



# つながる・つなげる

子どもと保育者（園の職員）

子どもと子ども

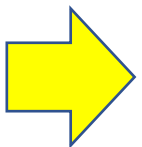
子どもと保護者

保育者（園の職員）と保護者

保護者と保護者

園と地域

子どもも理解が低いと、  
不適切な関わりになる



## とげ

わたしたちの目にとげはないか。わたしたちの言葉にとげはないか。  
私たちの気分にとげはないか。  
もとより自分で心づかぬ時のことである。  
まさかに、心づいてそんなことのありようはないが、ちらりと光る目、ふと出ることば、思わず動く気分、自分でも心づかない峻烈はないか。  
もとより瞬間のことである。直ぐ気づいて急いで取り直さずにはいないが、しかし、とげはいつでもちよつと刺すものである。  
その一と突きが、もう相手の皮膚を破っているものである。

『育ての心』上巻 37 ページ 倉橋惣三著

フレーベル新書



保育者の何気ない仕草に、  
その人の子どもも観・保育観  
人柄が表れる

大谷翔平さんの座右の銘

**「先入観は可能を不可能にする」**

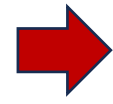
困った子ども



困っている子どもたち  
不登校34万人

小学校1.7%  
中学生6%

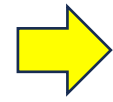
子どもにとって



子どもの権利

---

子どものために



自己満足

園に~~入~~れる

園で安心できる



「未来をひらく  
家庭支援・保護者との関わり」  
ワークブック  
井桁容子 著  
2021年（メイト）より

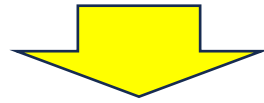
# 保護者とのかかわりの 基本的な考え方

- ・ 子どもの育ちや気づきをていねいに伝える
- ・ 日々のやり取りを誠実に行う
- ・ 相手を理解しようとする姿勢で向き合う
- ・ 保護者の背景を知っておく
- ・ 正論を押し付けない

完璧な人はいない



ひとはみんな違っている



それぞれの得意なことを活かして補い合う



他者を信頼して、「助けて！」と言える

**レジリエンス** (逆境から立ち上がる力)

# 経験年数が多いことの落とし穴

慣れ合い

妥協

規範

役割の固定化

自己防衛

他者に関する無関心

(鈴木健史氏

子どもの文化学校研修会資料参考)

自己批判・謙虚さを保つために  
**アンラーンの必要性**

- ・古い学習観から新しい学習観へ
- ・間違えた子育て観から正しい子育て観
- ・研修

**対話**

- ・科学知と実践知 (かん・コツ)
- ・伝え合う・聴き合う・語り合う関係



子ども理解が深まると  
保育の質が上がる

**大変**な時にこそ、その人の力が分かる

Aさん「できない、無理！」


Bさん「どうしたらできるか！」

肯定的な表現が多い

「幸せ」 ・ 「不幸」 は伝染する

否定的な表現が多い

「言霊」 （ことだま）



「やさしさに包まれたなら きっと目に映る

すべてのことはメッセージ～」

荒井由実：作詞作曲

「やさしさに包まれたなら」より